身の丈ITの推進

チケットレスアプリを活用して商店街イベントの効果を最大化！

ITの活用事例は、商店街でも進んでいます。当所では、昨年11月に商店街のはしご酒イベントにおけるチケットレスの実証実験を行いましたので、その様子をご報告します。

なお、今回支援したのは大橋商店連合会、井尻商店街振興組合、銀天町商店街振興組合の有志で結成された「なんかせんばはしご酒実行委員会」です。

●チケットレスアプリ導入の経緯

従来、はしご酒イベントを実施する際には紙のチケットを印刷し販売していました。チケットは1回開催につき700～800枚程度消費されますが、チケットを換金する際には、参加店舗が持参した紙チケットを商店街の役員等がその都度手で数えていました。枚数が少なければ良いのですが、店舗によっては200枚、300枚と多いこともあり、非常に手間がかかる作業でした。また換金期間終了後に1枚だけレジの奥に残っていたので換金してほしい、なんてこともしばしば…

加えて、このエリアではしご酒が始まってから6、7年が経過し、地域の恒例イベントとして認知されてはいるものの、来場者数、参加店舗数は減少傾向に。

若干のマンネリ化を感じ始めた中で、なにか変化が必要だと判断。そこで新たな取り組みとして、アプリを活用したイベントの効率化、効果最大化のための実証実験に挑戦することにしました。

●今回チャレンジしたこととその効果

チケットレスアプリを活用し、以下の項目について検証しました。

チケットの電子化（チケットレス）
▶ チケット換金作業の効率化！

イベントチケットを、従来の紙媒体とスマートフォン等でQRコードを読み込むだけで注文できる電子チケットの2種類展開。専用アプリ上で消費された電子チケット数は、システム上で瞬時に反映されるため、イベント終了後の換金作業時に1枚1枚紙のチケットを数える手間を大幅に短縮できました。

アプリを通じた来場者データの把握
▶ イベントの効果検証に活用

電子チケットユーザーが登録した性別、職業等の項目やチケットが消費された店舗、メニュー、訪問時間帯等から、様々なデータを収集。それらを組み合わせることにより、地域や店舗ごとの来客層、注文傾向、混雑時間帯やはしごルートを分析し、イベントの効果検証や改善点を抽出することができました。

商店街イベントでのIT活用
▶ お客様の新たなイベント体験に!!

はしご酒イベントでチケットレスアプリを導入するのは、福岡市内では初の取り組み。スマホを使ったイベント参加は、新しい体験として多くの方に好評でした。

次回開催に向けて

次回は2019年6月の開催を予定しています。その際には、チケットレスアプリユーザー数を今回以上に増やすとともに、キャッシュレス機能を追加し、更なる運営効率化と利便性向上を図ります。

福岡商工会議所では、今後もこのアプリを活用した商店街のはしご酒大会の開催を支援するとともに、地域のお役に立つ活性化策を推進してまいります。

〈今回アプリを活用したイベント〉

第1回なんかせんばはしご酒大会

開催エリア／西鉄大牟田線　大橋駅・井尻駅・雑餉隈駅周辺

内容／3,000円で3～6枚綴りの特別チケットを購入し、イベントの参加飲食店をはしごして楽しむ。

従来、大橋・井尻・雑餉隈がそれぞれにはしご酒を実施していたが、2018年より連携して週替わりで開催。

公式Instagram

はしご酒実行委員長の声

井尻商店街理事　広津 俊樹氏

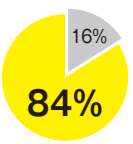
ITの活用は初めての取り組みでお客様も店舗側も戸惑うことはありましたが、お互いに操作に慣れてきたときの注文のスピーディーさには驚きました。

日々デジタルコンテンツが普及する中で、このアプリは今まではしご酒とは縁遠いように思われていた若者層の関心を集めることができたと感じています。

今後は第2回開催にむけ、前回の反省点を踏まえてチケットレスアプリの使いやすさを追求していきます。更にはキャッシュレスの機能も追加し、より多くの方に参加いただけるイベントに成長させて行きたいと思います。

参加店舗の声

・電子チケットは紛失の心配がなく良い
・売り上げの確認がしやすかった
・操作が意外と簡単だった
・そんなに難しいものではないので、次回導入したい　　等…



Q.次回電子チケット対応店に参加しますか？
■参加しない（16%）
■参加したい（84%）

お問い合わせ／経営支援グループ　TEL 092-441-1146